

白い妖精が舞う 春の湿原

菖ほうが美しく彩る
春告げの花

5月中旬から6月上旬、尾瀬ヶ原ではミズバショウが見頃を迎える。白く清らかな菖ほう（「がく」が変形したもの）が湿原一面に広がり、春の訪れを静かに告げてくれる。「白い妖精」とも呼ばれ、残雪の残る至仏山を背景に咲く姿は、尾瀬を代表する風景のひとつだ。下ノ大堀周辺は特に人気のビュースポットで、果てしなく続く湿原と花の調和を楽しめる場所として知られている。木道を歩きながら間近で眺める花景色は格別。澄んだ空気の中で、尾瀬ならではの春をゆっくりと感じたい。

群馬県

おがほら
尾瀬ヶ原のミズバショウ

- ①利根郡片品村戸倉
- ②尾瀬保護財団 027-220-4431
- ③散策自由
- ④11月上旬～4月中旬は冬季閉鎖
（5月中旬までは残雪期）
- ⑤無料
- ⑥関越自動車道「沼田」ICから車で約50分、尾瀬第1駐車場でシャトルバス（有料）に乗り換え「鳩待峠」下車（ハイキングコース入口）



5月中旬～6月上旬

ミズバショウ

分類 サトイモ科

別名 春の訪れを告げる「白い妖精」

